

第9回懇談会の議事概要

資料-1

議事	No.	質問・意見等	委員会での回答	対応等
稲戸井調節池掘削に関する報告	1	掘削によって増加する貯水容量と調整池への水の出入りを表示していただきたい。	表示します。	今回の資料に記載
	2	第2試験地の地下水位が降雨と連動しているということは、掘削が地下水位の変動には影響しないという解釈か。	Y.P+5.5mまでの掘削の結果、地下水位に影響は出ていない。	
	3	第2試験地近くに集落が密集しており、井戸を使用している方も多いのでYP+2.8mまで掘削する場合は試験をお願いしたい。	今後検討します。	
	4	第1試験地の地下水位が9月に雨量と相関がなく上げているが、排水門を閉じたからか。	台風により稲戸井排水門を閉めたことにより、大野川流域に降った雨が、調節池に入り貯まり、地下水位が影響を受けた。	
	5	オオタカについて繁殖場所はどこか	台地の民地の林で確認された。	
	6	猛禽類については事業に影響がでる場合があるので十分調査していただきたい。	サンバの営巣が確認されたところは掘削するところではないが注意して工事をしていきたい。	
	7	鳥類の確認については、種類だけでなく個体数も記録し変化を読み取れる。		今後の調査の参考とする。
	8	ハヤブサの繁殖場所は本来河川敷きはなく、崖の上ですので、この辺りは繁殖は無理でここではほとんど餌場として利用していると思う。		今後の調査の参考とする。
	9	震災時のためにヘリコプターがでたり自衛隊がでたりする広場を五反田辺りに作ってほしい。		防災対策機関において計画上の位置づけが必要となります。
	10	五反田、守谷出張所の所に盛土をして飛行機を置けるようにしてほしい。		調節池の中は洪水調節容量の確保のため盛り土はできません。
	11	利活用ということで、上流端と下流端をそれぞれ市で使うということで計画されているが、そこまで国交省でどこまで市のほうでやるのか。	掘削して整地までは国交省がおこなう。あとは公園、グラウンド等で使う場合は、市で管理をして頂く。	
	12	守谷市の利用計画について聞かせて欲しい	利活用区域の約15haの面積の中で野球グラウンドや多目的広場というような、一部親水公園も含めた利用計画を立てている。また、掘削区域の部分で仮に湿地という形になっても、ある一部は水面的な利用、そして一部は水生植物を観賞できる場所となればよいと思っている。(守谷市から回答)	
	13	水面利用と言ったときにどの辺まで掘り込めば可能となるのか。	今の時点で水面まで掘り込む気持ちはなが、YP+2.8mくらいまで掘ると水面が出るか出ないかの高さである。	
	14	取手市の利用計画について聞かせて欲しい。	利活用区域の一部は野球場として利用したいが、残りの部分は検討中である。(取手市から回答)	
	15	環境保全区域については、昔のアシがあった頃のようにしてほしい。最低限年2、3回の草刈りなどをしていただきたい。	環境を保全するためには、人間の手が入らないと保全できない環境もあるが、ほとんど予算がないに等しい。堤防の除草ですら回数を減らせと言われているご時世である。誰がどんな形で保全していったらいいのかと事柄については大きな問題である。	
	16	環境保全区域の維持管理については、国交省と市で話し合いをして、必要に応じて民間も巻き込むような形で、これから解決策を探っていただきたい。		平成24年12月に守谷市高野地先の調節池内において、地元自治会、利根川と自然を考える会、守谷市役所、守谷出張所及び同請負業者から約50名のご参加いただき「除草大作戦」を実施した。